

2019年

会員生協総(代)会議案書

第42回通常総代会と
2018年度活動の報告
2019年6月16日(日)
サンドーム福井小ホール

福井県
医療生協

第42回通常総代会を開催しました



あいさつする大門理事長

福井県医療生協の第42回通常総代会が、6月16日にサンドーム福井小ホールにおいて開催。「2018年度活動のまとめと事業報告及び決算・2019年の運動方針」をはじめとする議案の

提案があり質疑・討議を経て全議案を採択しました。

健康づくりをとおして くらしとまちづくりに貢献する、生活圏域で医療と介護、生活を支える支部・組織づくりをめざします。

健康づくり…健康習慣を広げる健康チャレンジ、健康不安に応える健康チェック、組合員参加を増やす健康ウォーク、グラウンド・ゴルフ大会などの取り組みを通して健康づくりを進めます。

まちづくり…地域の「困った」を解決できる組織と事業づくりをすすめます。事業所と地域を結ぶ送迎活動のネットワークの充実めざし助け合い活動を進めます。地域での組合員による「助け合い運動」を広げましょう。

組織づくり…医療も介護も「改悪」、年金も削られる中、こんな時だからこそ、強い組織「医療生協」を作りましょう。組合員の顔の見える生活圏域ごとの支部づくりをめざします。

第62回通常総代会
2019年6月22日(土)
(一財)福井県教育センター
4階 大ホール

福井県
学校生協

第62回通常総代会を開催しました

第62回通常総代会が開催され、次の4つの議案が承認されました。

- 第1号議案 平成30年度事業報告及び決算関係書類承認の件
- 第2号議案 令和元年度事業計画及び予算決定の件
- 第3号議案 役員補充に関する選任の件
- 第4号議案 役員報酬決定の件

令和元年度の主な事業計画

1. コンプライアンスに則った学生協運営・組合員の拡大と組織の活性化を図る。
2. 経営数値の改善を進めるとともに経営組織に貢献できる人材の育成を図り、経常剰余金での黒字を目指します。
3. 「共同購入」、「通信(カタログ・チラシ)」を中心とした自主供給の利用拡大を図る。
4. 指定店会、協力店、提携店と連携し供給事業の強化を図る。
5. 手数料事業の拡大と事業剰余金確保のため、経費の削減に取り組みます。
6. 県内外の関連団体と連携するとともに、教職員を取巻く関連団体との提携を進め、各地の被災地の復興に貢献します。



第62回通常総代会
2019年6月27日(木)
(一財)福井県教育センター
4階 大ホール

福井
県庁生協

将来像を見据えた人材育成と、
事業の抜本的改革を進めます!

福井県庁生協「第62回通常総代会」は、6月27日(木)午後1時30分から、福井県教育センター大ホールに於いて開催されました。

見世理事長の挨拶の後、福井県県民安全課 金谷課長、生協連合会 竹生会長理事から祝辞をいただき、坂井地区水道管理事務所 桑野総代を議長に選任し、各議案の審議を行いました。事務局から提案された議案(第1号～第4号)は、賛成多数によりすべての議案が承認可決されました。職域生協を取り巻く環境は依然厳しく、県庁生協も母体の変化と環境の変化をしっかりと受け止め、職域生協としての存在意義を訴求することを目的に2018年度事業に取り組みました。

事業の中心である売店部門では、福井国体の需要供給が続き、年間の供給高は好調に推移するかと期待していましたが、後期は落ち込みが大きく、計画数値を割り込む厳しい供給高となりました。

しかし、全期に渡り事業内容の見直しを進めるなど、健全経営に向けての取り組みを強化してきた効果により、6期連続の黒字決算を迎えることができました。新年度も、取り巻く環境の変化に対応しながら、組合員の生活を守り、福利厚生の一翼を担うという大きな使命感のもと、健全経営の確立をめざします。

特に、一層厳しくなる将来像を見据え、特に人材育成や部門別の見直しを進め、役職員一丸となり事業を推進します。



第49回通常総会
2019年2月11日(月)
菅浜農業構造改善センター

菅浜
生協

組合員の利用なくして
生協の存続なし 全ての議案が可決承認

去る、2月11日(月)菅浜農改センターに於いて第49回通常総会を開催いたしました。当日は、82名の組合員の皆様にご出席頂き、川崎議長の進行のもと、全ての議案が原案通り可決承認されました。平成30年度は夏の猛暑、大型台風襲来による8～10月の供給高減少、ふるさと商品券の販売見送り等により、熱中症対策グッズ、防塵マスク等の売上増はあったものの、供給高は昨年度を5,500千円下回り、年度見通しとして1,048千円の当期損失金を計上致しましたこと、組合員の皆様に深くお詫び申し上げます。平成31年度は「お客様第一」、「地域と共に歩む生協」という原点に返り、役職員一丸となって、長期展望の下、経営改善に取り組んで参る所存であります。当



生協が安定経営を継続して行くには、やはり組合員の皆様にご利用頂くことが一番重要でありますので、今後共変わらぬご支援、ご協力の程、宜しく願い申し上げます。



第41回 通常総代会
2019年6月20日(木)
県民せいきょう本部センター

福井
県民生協

感謝と挑戦で
新時代を切り拓こう

第41回通常総代会が開催され、全ての議案が賛成多数で可決承認されました。

竹生理事長が2018年を振り返り、JA福井県経済連と提携した食品加工センターの稼働や南越前町と提携したコンビニハーツの開設、ハーツ神中オープンなど創立40周年にふさわしい年度になったことの感謝を述べました。来賓を代表して、杉本福井県知事から宅配・店舗・共済・介護と地域の生活を支える事業を県民目線で展開していることや国体への協力など感謝の言葉をいただきました。

2019年度主な取り組みについて

1. 消費税増税・軽減税率に対応した準備を進め、家計応援企画に取り組みます。
2. ハーツつるがをリニューアルオープンします。
3. 食事宅配の配達エリアを拡大し生活支援サービスを充実します。
4. あわら市での新規介護事業所、鯖江市で社会福祉法人の設立に向けた準備を進めます。
5. 持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向けて多様な活動を推進します。



A bill book digest of consumers' cooperative

福井県労済生協の総代会は、7月29日に開催されました。次号に掲載します。

第65回通常総代会
2019年5月16日(木)
福井大学教育系
大2講義室

福井大学
生協

第65回通常総代会を開催しました

第65回通常総代会が5月16日(木)に開催され、すべての議案が賛成多数で可決承認されました。新たに作成した第3次中期計画では、社会経済環境の変化や大学の生き残り競争の中で、組合員の参加と協同で事業の高次化を図り、組合員の成長とともに大学コミュニティへの貢献を目指すことが確認されました。



18年度の利用高は6億9,055万円较去年より△2.3%、利用者数は94.7万人(△2.1%)にとどまりました。食堂利用が伸張する一方で、新生活用品や公務員講座など単価の大きい商品を中心に、購買と書籍の利用がマイナスとなりました。当期末処分剰余金410万円のうち、350万円を法定準備金および店舗システム改修積立金として処理しました。

総代会後は、恒例の総代交流会とアイデアメニュー祭りの試食会を行い、昨年の「鯖茶漬け丼」に続いて、福井らしく「厚揚げステーキ」が1位に選ばれました。



入学定員厳格化や研究室の敦賀キャンパス移転などによりキャンパス人口が減少傾向にありますが、食堂の混雑対策と組合員の声やニーズに対応しながら、組合員に支持される生協づくりにとりにていきます。

2019年度
第1回地区推進委員会を開催しました

I. 地区推進委員会の開催報告

県下6地区において、2019年度第1回地区推進委員会を開催し、2019年度推進活動計画などの討議をおこないました。

2019年度 推進活動の基本方針

1. 「お役立ち」発想と「共創」活動を常に意識し、組合員と向き合うすべての場面で、組合員に寄り添う「総お役立ち活動」を実施し、選ばれ続ける「こくみん共済coop」を実現する。
2. 新こくみん共済・新長期生命共済の商品改定における推進を最重点課題として位置づけ、「こくみん共済coop」の浸透と連動した推進展開をはかる。
3. 現状の契約の継続漏れ、減少を抑制するため、継続漏れ対策における各施策の確実な実行と、新たな要因分析を実施する。
4. 共済事業の持続的成長と労済運動の発展を図るため、Zetworkスタイルを理解・実践し、牽引する推進職員の育成をめざす。

II. 文化フェスティバルの開催

社会貢献活動の一環として、こくみん共済coop<全労済>への信頼と理解を深めていただくことを目的に「文化フェスティバル(ピーターパンとウェンディ)」を開催しました。

開催日時：2019年4月6日(土) 開催場所：鯖江市文化会館
来場者数：686名

ダイジェスト